

## 令和2年度 第1回中央区政を話し合う会

### あんしん部会 議事要旨

日時：令和2年12月7日（月） 10：00～11：30

場所：中央区役所 4階大会議室

報告：

県庁舎等再整備基本計画骨子について

議題：

- (1) 中央区政を話し合う会について
- (2) 中央区まちづくり方針について
- (3) その他

**報告** 県庁舎等再整備基本計画骨子について

資料に基づいて、兵庫県企画県民部新庁舎整備室より説明。

#### <委員からの意見・提案>

・県民会館の名称は残るのか。

⇒（兵庫県）

未定。

- ・県庁周辺は、兵庫県公館や相樂園、諏訪山公園等の地域資産が分散して立地しているので、シンボルゾーンを中心にどのようにして地域資産を活かしていくのか考えてほしい。
- ・立派な建物が整備されると周辺地域にプレッシャーがかかる。再整備したきれいな通りを一本隔てるとダウンタウンになってしまうということにならないように、地域住民の意見を十分に取り入れて、まち全体としてトータルで設計してほしい。にぎわい交流施設整備の導入にあたっては、ホテル機能など色々と考えられているようだが、周辺住民を対象にするものを一番に考えてほしい。
- ・JR 元町駅におけるエスカレータやエレベータの整備は地域住民にとって良いことなので、是非進めてほしい。
- ・にぎわい交流施設に商業機能を取り入れるとのことだが、新神戸駅周辺の商業施設のように衰退しないよう工夫してほしい。また、にぎやかな施設を整備すると周辺の道路が渋滞するので、渋滞が緩和できるような駐車場の整備を検討してほしい。
- ・新しい広場は建物の北側にあたり、日陰になることが想定され、使用頻度が高くなるとは考えにくい。現存している体育館の利用率が高いということ踏まえ、広場に体育館施設を建設することを考えても良いと思う。

⇒（兵庫県）

本基本計画骨子のなかには、体育館の整備は含まれておらず、周辺には体育館を備える市所有の生田文化会館がある。このため、体育館についてはこの施設を市が今後どのように再整備するかによって、県として判断したい。

- ・にぎわい交流施設においては、ある特定の地域だけでなく、県内全域のPRに力を入れるべきであり、県が民間事業者に指導しながら、行ってほしい。
- ・中央区では国際会館のホールのほか、新たに2号館跡地にも音楽専用の大型ホールが建設予定であるが、区民が気軽に利用できる区民ホールはない。このため区民ホールを、にぎわい交流施設に整備することを検討いただきたい。
- ・広場は行政棟の北側に立地し、影になってしまうので、にぎわいが生まれるかは疑問に思う。行政棟と広場の立地は逆の方が良い。それができないのであれば、デザインや活用方法に力を入れないと、せっかくの土地が活かしきれないと思う。
- ・小学校の統廃合の影響で、こうべ小学校は校区が広く、片道2kmを歩かなければいけない子どもがいる。神戸市に解決してほしいと要望しても、土地がないからできないという説明をよく聞く。生田文化会館の体育施設のこともそうだが、住民にとっては切実な思いなので、県と市が協力して解決してほしい。

**議題** （1）中央区政を話し合う会について

**<委員からの意見・提案>**

特になし。

（2）中央区まちづくり方針について

**<委員からの意見・提案>**

- ・子育ての項目には、若い世代に手当を支給する等の具体的な施策を取り入れてほしい。

⇒（中央区）

区方針策定に並行して、市でも新たな計画を策定しており、そちらの計画にはそのような施策も盛り込んだ計画ができるタイミングにいる。子育て支援については全市で取り組む内容であり、区独自では取り組みにくい。

- ・「よりよい都心三宮を目指して」の箇所には、県庁の再整備の点も踏まえて、都心三宮・元町としてはどうか。中央区は三宮だけではない。

⇒（中央区）

その通りである。検討する。

- ・子育てについては漠然と記載があるが、子どもの教育に関する記載がない。特に中央区の住民は最近来られた方が多く、親も中央区の成り立ちや歴史を知らな

い人が多い。中央区に愛着を持つためには、まずはその成り立ちを知ることが必要であり、子どもへの歴史教育は欠かせないと思うので、それに関する記載がほしい。

- ・スローガンに関して、「愛」というワードを直接的に用いる必要はないと思う。情緒的であり、個人によって捉え方が違う。

⇒ (中央区)

「身近な文化・自然などへの理解や愛着を深める取り組み」の項目へ「歴史」という表現を使って追加したい。

- ・「次世代を担う青少年の育成のための取り組み」と記載があるが、「青少年育成協議会」はなくなるのか。

⇒ (中央区)

なくなる。既存の取り組みを通じて、青少年を育成していくつもりである。

- ・来年度以降、市として準公金団体の活動（青少年育成協議会やスポーツ体育協会の活動）からは手を引いていくという説明を聞いているが、中央区としては青少年の育成の取り組みをするということに矛盾を感じている。青少年の育成の取り組みを保護者や第三者に任せるようなことを聞いたりするが、中央区としてはどう関わっていくつもりなのか。

⇒ (中央区)

市の現状の動きとして、市職員が準公金（公金ではないお金）を扱うことをなくしていこうとしている。法律的な問題もあり、市職員が他団体の事務を行ったり、お金を扱ったりすることはできないが、今まで行ってきた市の取り組みを一切辞めるということではない。個人的な意見になるかもしれないが、青少年の育成ということは当然市としても取り組んでいかなければいけないことで、できないことはできないとして、できる範囲の中で何ができるかということを検討しなければいけないと思っている。

- ・来年4月から市の関わり方が見直されることがはっきりしている中で、今の段階になっても「これから検討します」では遅い。

⇒ (中央区)

青少年育成協議会の区連合組織がなくなるが、単位の協議会がなくなるわけではない。情報共有の場を設けて、必要な議論はするし、行政の情報も提供する。「青少年を讃える会」も継続する。その他に何ができるかということ「検討する」と言っており、引き続き考えていかなければならないと思っている。

- ・若者に選ばれるまちを神戸市は目指しており、若者に選ばれるためには働く場所の確保が必要となるので、そういう点の記載が欲しい。現在でも働く場所は多いし、中央区内には平和に関する名所も多いので、それらの発信にも力を入れてほしい。

- ・「多文化共生のまちづくり」は言葉が固くてわかりにくい。「外国人と一緒にくらすまちづくり」に変更する方が良い。
- ・「多様性を認め合うために」という項目に外国人の記述と障がい者、LGBTの記述をひとまとまりにして同一視することに違和感を覚える。
- ・LGBTの取り組みを進めることは良いが、記載して強調する必要まではないと思う。
- ・個人的にはLGBTを記載することに賛成である。いま一般的に「障がい者」という言葉がいいのかどうか、疑問を感じる。適当な言葉が見つからないが、障がい者の中に性的少数者を包括する言葉があるのであれば、それでまとめても良い。
- ・障がい者と性的少数者は違う。学校の制服で女子はスカート一択だったことが、スカートかズボンかを選べるようになってきた。そういう意味でもLGBTを理解しようとする取り組みは広まっているし、記載する方が良い。ひとつの言葉でまとめるのはおかしい。

⇒ (中央区)

外国人及び障がい者やLGBTを一緒の項目として記載するか、記載の方法についても、ご意見をもとに再度区で検討する。

- ・この場へきていきなり意見を求められても出てこないなので、資料は事前に配布しておいてほしい。

⇒ (中央区)

申し訳なかった。次回からはそのようにする。

スローガンに関して各委員から下記のキーワードについて意見が出た。

- ・「先人のあゆみを知れば まちへの愛が深まり その愛が集まれば まちがもつと輝きます」  
※中央区のあゆみ（中央区40周年記念冊子）と同じ
- ・「住みたくなる」
- ・「輝く」
- ・「個性」
- ・「子どもも大人も」
- ・「未来」
- ・「わが街」
- ・「大らか」